

# 令和6年11月20日(水) 10:20~14:45

【場所】 中泊町総合文化センター「パルナス」ホール

社会福祉法人による「地域共生社会」西北モデル強化事業（青森県委託事業）

## 福祉避難所研修会・模擬訓練

【日程】 10:20 開会

10:30 研修1（講演）・社会福祉連携法人ジョイント&リップルの活動紹介  
（休憩 11:30~12:45）  
・開設、運営事例から福祉避難所を学ぶ

12:45 研修2（模擬訓練）福祉避難所机上訓練SgSE（スグセ）研修会

14:45 閉会

机上でできる

## 福祉避難所立上げシミュレーション SgSE(セグセ)

こんなかたにおすすめです

- 福祉施設において災害にどんな困りごとが起こるかを疑似体験したい。
- 自法人（事業所）に災害備蓄品が十分かを確認したい。
- 福祉避難所の締結を自治体としているが、何をしたいかわからないので立上げを疑似体験したい。
- 自法人（事業所）に被害が大きかった時、隣の法人（事業所）に被害が大きかった時に、お互いを助け合う連携体制を確認したい。

申込〆切  
11/11  
(月)

参加  
無料

### SgSE 開発の経緯

熊本では、平成28年4月に熊本地震、令和2年7月豪雨災害と、災害対策は極めて重要な行政課題です。私たちは、熊本県経営協DWATを組織し、熊本県南部の豪雨において、社会福祉法人が連携し、福祉避難所の立ち上げを行い、高齢・障がい・児童、その他たくさんの要援護者を受け入れ、生活復帰の支援をさせていただきました。各法人で自治体との福祉避難所の協定を結ばれていても「福祉避難所って何を準備して、何をすればいいの?」「災害時に福祉避難所を本当に開設できるの?」「実際に災害に見舞われないと、自事業所がどうなってるかわからない」等、不安に感じられているという声をたくさん耳にしました。私たちは地震や豪雨災害での経験を活かし、各関係機関が連携・協働して福祉避難所を立ち上げるためのゲームを開発しました。

### SgSE 体験でのポイント

**ポイント 1 事業継続のための備蓄品の量を学べる**  
皆さんの事業所には、災害時に利用者の生活を維持できる備蓄品を用意していますか? 災害時のインフラ対策は十分ですか? 体験（ゲーム）を通して、自法人（事業所）のインフラや備蓄品の確認ができます。

**ポイント 2 福祉避難所とは? を学べる**  
福祉避難所ってどんなところ? 何が必要なの? どんな人がくるの? など、大規模な訓練を行わなくても、毎年机上で行うことで、災害時に自法人（事業所）が何をすべきかを学ぶことができます。

**ポイント 3 他事業所との「連携・協働」を学べる**  
災害時に自事業所で出来ることは何なのか? 災害時には利用者を守りながら、他事業所と連携し、事業継続、そして福祉避難所の立ち上げのポイントを学ぶことができます。

**ポイント 4 災害時の情報発信・収集を学べる**  
災害時、情報を発信しなければ、何が必要なのかが伝わりません。その反面、支援したいけど待っているだけでは情報が入ってきません。どのような情報を発信し、収集しなければならぬかを学習することができます。

【講師】 社会福祉連携法人ジョイント&リップル（熊本県熊本市）

◀ 参画法人：社会福祉法人リデルライトホーム 古賀氏・吉鶴氏 ▶

【問合せ・申込み先】 中泊町地域貢献活動連絡協議会

〒037-0305 北津軽郡中泊町大字中里字亀山170-1（湯らぱーく内）

TEL/FAX：0173-57-4841（中泊町社協）



申し込みQRコード